今年から4000円 登山者の実感は

富士入山料「妥当」「高い」拮抗

富士山の静岡県側の開山から1カ月が過ぎ、夏山シーズンは後半戦に突入した。県は今年から入山料4千円の徴収や弾丸登山規制を開始。登山者は4千円という金額をどう受け止めているのだろう。富士宮口5合目（富士宮市）で8月上旬、10～80代の20人に尋ねると、「妥当」と「高い」が拮抗（きっこう）した。

（山田晃史、写真も）

入山料を払うと渡されるリストバンドのチェックを受けて富士山に入る登山者たち＝富士宮口５合目で

「初めての富士山。1回登るだけなので、この金額は払える」。友人一家と訪れた東京都江東区の会社員片山俊さん(45)は「妥当」と回答した。ただ、「毎年登る人にとっては高いだろうし、1シーズンに何回も登る人には年間パスなどで負担を減らしてあげてほしい」と望む。「妥当」と答えた人は10人で、半数を占めた。富士山の保全や登山道整備のために必要といった理由が目立った。「安い」と答えた人は1人いた。

県は昨年まで、入山者から任意の協力金として1人千円を集めていたが、今年から条例で1人1回4千円の入山料の徴収を義務化した。入山料を払った人に渡されるリストバンドがなければ、登山口のチェックポイントを通過できない仕組みにした。

「高い」と感じる人は9人で「妥当」とほぼ同数。横浜市の大学教授稲川郁子さん(50)は「協力金を払うともらえる缶バッジを集めていたのに、値段が4倍になってぺらぺらのリストバンドしかもらえない」と少し不満げ。神奈川県伊勢原市の大学4年の男性(21)も「ここまで来るのにお金がかかるし、山頂まで行かずに少し登るだけの人も同じ値段なのは不公平」と話した。

弾丸登山規制として、午後2時～翌午前3時に登山を始める人に山小屋の宿泊予約を必須にしたことは、20人全員が賛成した。

富士山入山料 登山者の主な意見

	意見	回答者
高い	気楽に登れる金額ではないので少し高いと思う	浜松市・主婦・女性(55)
高い	うまい棒を何百本も買える。自然がつくったものなのになぜお金を取るの?	東京都江東区・小学5年・男子(11)
高い	少しだけ登りたい人が来にくくなる。どこまで登るかで金額を決めてほしい	神奈川県伊勢原市・大学4年・男性(21)
高い	アメリカの国立公園と比べて高い	米国人観光客・男性(38)
妥当	保全や遭難者への対応に静岡県の税収だけではまかないきれないと思うので仕方ない	愛知県豊川市・会社員・男性(50)
妥当	自然環境を守るためにも必要。少し安いかもしれないが、足りているの?	ドイツ人観光客・女性(19)
妥当	初めての富士山なので心構えをするためにも1回だけならこの金額で納得	東京都江東区・会社員・男性(45)
妥当	これ以上安いと簡単な装備で来てしまう人がいるかもしれない	横浜市・大学4年・女性(22)
妥当	世界遺産に登れるという価値がある	愛知県刈谷市・大学2年・男性(20)
安い	富士山の登山環境を整えるのには経費も人手もかかるし、大変なことも多い	川崎市・大学4年・女性(21)

山梨に合わせ同額 識者「中途半端」

「料金意義 県は明確に」指摘

都留文科大元教授（富士山学）でNPO法人グラウンドワーク三島の渡辺豊博専務理事は、入山料について「妥当」と「高い」で二分された理由を「山梨県と合わせるため、金額ありきで入山料が決まった。抑制したいのか来てほしいのか分からない中途半端な金額だからだ」と分析。「県は登山環境の改善に必要な総額と将来の姿を示すなど、入山料の意義を明確にするべきだ」と指摘した。

県は、スマートフォンアプリで事前学習や書類の記入、支払いまでできる事前登録システムの運用も始め、利用を促している。システム経由の入山証発行数は7月10日の山開きから8月10日までで5万5786人分。現地での発行数も含めた入山者の総数などは9月10日の閉山後に公表する。

昨夏の静岡県側3ルートの入山者は計8万9459人だった。